

田舎暮らしのみちしるべ

E-mail chiiki@city.iwakuni.lg.jp

第9回 IJU（移住）応援団交流会開催 In 向峠 むかたお

【向峠のある錦町】

岩国市錦町は市の北部にあり、人口は約 3050 名、1200 世帯。面積 210Km²。標高 300m 以上が 81%、1000 m 以上の高地も有す。夏の気温は平均 26℃と涼しく、冬は 4℃。年間降水量は夏季の 300mm、冬季の 80mm と水も豊かです。町中を錦川と宇佐川が合流する地点にあります。

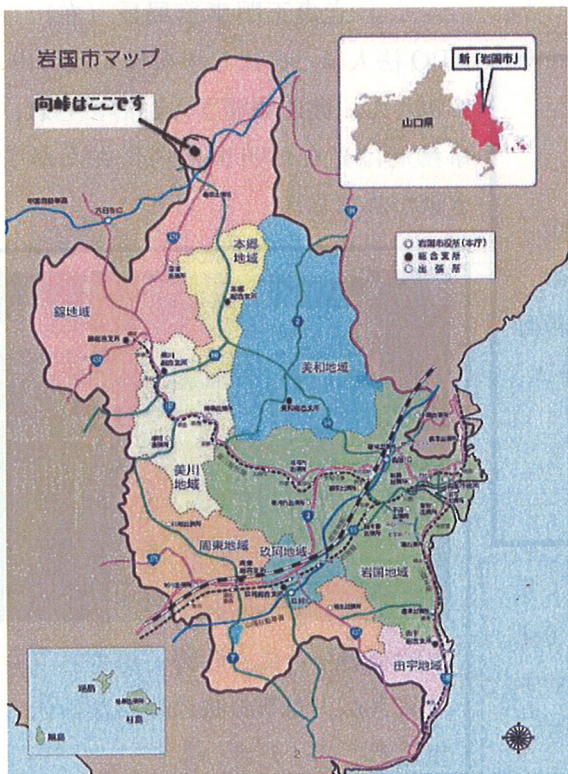
【交流会の内容】

この錦には、IJU 応援団が 4 名います。今回はその中の一人応援団のえもとようじ 恵本洋嗣さんの地元、河川争奪地形で有名な向峠で、6 月 27 日（水）に第 9 回 IJU（移住）応援団交流会が開催されました。会場は地区の歴史の象徴である『剣霊神社』の社務所で 26 名が参加しました。

向峠の地形を約 3000 万年前に遡り、地球規模での日本列島の成り立ちから、向峠の地形、川の働きにより現在の地形、岩国市が出来たいきさつが紹介された。また、向峠に 554 年前に入植開拓した人物が澄川盛信 宇兵衛道喜ということが剣霊神社の古文書や匹見町史、吉賀町史から解き明かされたこと。現在の灌漑施設が江戸時代の祖先山田利左衛門親子の大工事によって作られたこと。その財産を今まで継承してきた伝統と現在の農業・環境保護へと引き継がれ、次世代へ引き継ぐ現在の取組を、恵本洋嗣さん、梅川厚子さん、梅川仁樹さんによって講演された。また、山口県地域振興部の伊藤氏から山口県における UJI ターン促進事業

剣霊神社前にて記念写真

(梅川厚子さん (左)、梅川仁樹さん)



の説明がありました。恒例の参加者の近況報告では、久しぶりの皆さんの日頃の活動が紹介され、女性の更なる参加の希望も提案されました。昼食は、地元の食材をふんだんに使った栄養満点・バランスのとれたもので参加者も大満足でした。準備をしていただいた幹事の恵本氏には感謝・感謝でした。午後の部では、更にパワーアップした参加者により行われた意見交換会に先立ち、事務局より今年度の計画と最近の進捗状況の報告を行った。話題は地域への『移住促進』、『Uターンの呼びかけ方法』、『若者の定住化への対応条件』、『世界中でのお米の生産方法』、『土地の名産開発』、『空き家の発掘方法』、『女性応援団の増員』、『交流会への女性の参加促進』など活発に行われました。10時から14時半まで昼食をはさんでの交流会はあっという間に時間となりました。次回秋には、周東町地区での開催の予定です。



多彩な食材のお弁当を
ありがとうございました
向峠地区の風景

環境保全隊の作業風景



錦町へのJターン者の紹介

原田誠一郎・みどり夫妻（須万地） 東京の青梅市より移住。
叶 英三・國子夫妻（広瀬） 兵庫県姫路市より移住。
原田さんは下松出身。叶さんは親戚が錦町に居られました。

2家族への受入れガイダンスはほっとにしきにて実施され、はやく地域に慣れるための色々な情報が紹介されました。

移住者の皆さんの詳細は、岩国市UJIターン『田舎暮らしのみちしるべ』体験者の声で紹介いたしますので、是非ご覧ください。



寺本隆宏理事長、
光貞正明事務局長（右）

新IJU（移住）応援団 『藤野 勇』さん紹介

UJI 応援団 本郷特産品加工販売組合 『四季の味 山代の里』

平岡利美組合長に加えて1名の応援団が増員されました。藤野 勇さんです。毎週水、土曜日に開設される組合の加工所で、自家製の蒟蒻、お餅、お寿司、漬物、 magari 煎餅や地元の豆腐、新鮮な各種野菜、手作り人形等工芸品や最近、新製品としてヤーコン製品のジャム、味噌漬け、粕漬け、お茶などなどを加工して売り出し中です。

『四季の味 山代の里』 ☎ 0827-75-2100

NPO 法人ほっとにしき事務局は村田卓也さん、渡辺美緒さんが辞められ、事務局は光貞正明事務局長さんが引き継がれました。



平岡利美組合長、藤野 勇さん（右）
『皆さん、四季の味の豊富な山代の里におこしく下さい』

岩国市市民生活部市民協働推進課 IJU 応援団だより発行事務局より

今年に入り、空き家3件の成約ができました。空き家登録募集中です。現在空き家が1軒で移住相談者からの問合せに対応できない状況です。暑い季節ですが健康には十分注意されて、良い夏をお過ごしください。